



2008年度 エクマットラ 会報 vol.1



©Copyright EKMATTRA

応援してくださる皆様方へ

いつもお世話になっております。
渡辺大樹です。皆様には様々な形でエクマットラを応援していただき、大変感謝しております。にも関わらず、こちらからの連絡が滞りがちで恐縮しておりました。この度、インターン渡辺尚希のイニシアチブで、こうした形で会報誌を発行することが出来、大変うれしく思っていますと共に、今後この会報誌を通じ、皆様と情報を共有出来たらと願っております。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

渡辺大樹
エクマットラ顧問

福島さんにインタビュー!!

六月の後半から一ヶ月間、福島球江さんという女性の方がエクマットラにいらしていました。渡辺大樹が日本で行った講演会が縁で、エクマットラを手伝っていただきました。この日はそんな福島さんに只今エクマットラでインターン中の渡辺尚希がインタビュー！インタビューを通して、子供達の様子に迫ります！

渡辺(以後W)
「福島さんは今、エクマットラではどんなことをなさっているのですか？」

福島さん(以後F)
「子供達が毎日ミサンガを作っているのですが、そのパターンを増やすために作り方を教えています。でも、教えるというより子供達と一緒に学んでいるという感じですね。ミサンガのコンテストを開いて、新しいデザインに挑戦しているところです。」

W「子供達に教えていてどうでしょう。大変ですか。」

F「やはり、作り始めるまでが大変です。作り始めてしまえば後は集中してくれるんですが。」

W「私の見ている感じではミサンガに集中しているようだったんですが、集中力を続かせるのは難しいんですね。」

F「特に、今までの慣れてないデザインが余計に難しいようで、簡単なのに逆に難しいという現象が起きているみたいですね。」

W「なるほど。コンテストで新しいデザインを子供達皆が作って競ったわけですが、福島さんの一押しは誰でしょう？」

F「特にAkhiという女の子が上手です。編み上がりは皆プロフェッショナルですが、中でも配色が上手いですね。」

W「話は変わりますが、ミサンガを作るだけでなく、子供達と一緒に過ごしてみようか？」

F「規律を非常に守れているのが素晴らしいなと。掃除、洗濯なども自分達でしっかり行っていますし、共同生活の中で必要な協調性も身に付けています。好き嫌いも言えない環境ですから、好き嫌いが減るのも良いことだと思っています。いろいろな子供達がいるので、喜怒哀楽があって楽しいですね。」

W「なるほど。子供達と過ごしていると、真っ直ぐで不思議とほほ笑んでしまいますよね。それはここの子供達のもつ自立心や協調性などひっくるめた人間的な魅力なのかもしれませんね。本日はお忙しい中ありがとうございました。」

福島さんは七月後半までエクマットラのお手伝いをしてくださいました。

子供達の壁新聞作り!!

毎週土曜には美術の時間があります。青年海外協力員の奥野麻衣さんが毎週いらっていて、子供達に授業をしてくださっています。この授業が始まって、まず最初に取り組んだのは壁新聞作りでした。子供達は女の子と男の子に別れ、まずは新聞の構成を考えました。下書きから男の子と女の子の間では違いが見られ、女の子の方が下書きなのにカラフルな傾向がありました。逆に男の子は絵を用いず、線だけで下書きを。

下書きが終わり、今度は記事に。みんな真剣な面持ちで取り組み、男の子達は繊細に、そして女の子達は豪快にその白紙を利用して壁新聞を作っていました。



完成した壁新聞

完成した壁新聞はエクマットラのセンターの2階の階段に飾られています。今後、随時子供達が作った新聞をここにに入れていく予定です。(女の子:向かって左)

ミニ図書館誕生!!

エクマットラに子供達のためのミニ図書館が誕生しました。本を寄贈してくれたのは、Master Mindという学生の団体です。今まで数十冊の本はありましたが、子供達のカバン置場になっていた棚が彼らのおかげで図書館に生まれ変わりました。

子供達は絵本をもらって嬉しそう。特にDipuという男の子は他の子供達が、Master Mindの学生達とチェスをしたり、ボードゲームをしたりしている中、脇目もふらず、本を読むのに熱中していました。

また、寄贈された本の中には英語の本もあり、Rajibという男の子は英語の絵本を音読しながら英語の勉強をしております。中には発音の仕方が分からない単語もあるようですが、その単語を飛ばし読みしていたのですが、一度読み方を教えるとすぐに読み方を覚え、同じ単語が出てきてもきちんと読めるようになっていました。

日本人教師の方が エクマットラを訪問!!

8月6日東北地方から日本人教師の方がJICA海外教師研修でエクマットラにいらっしゃいました。人数の都合上、子供達とのお昼は男の子、女の子の二手に分かれて取ることになりました。昼食後、顧問の渡辺大樹がエクマットラについての説明を行い、その後子供達との交流の時間へ。先生方は綾取りを教えたり、シャボン玉を一緒に飛ばしたり、折り紙を教えたりしてくださいました。この日教わった綾取りや綾取りを使ったマジックを子供達は先生方が帰ってから度々私に披露してくれます。

プログラムの最後には子供達が「世界に一つだけの花」などの日本の歌を披露。歌だけではなく、身振り手振りまで備えたものでした。また、Nasrin、Smrity、Rabeya、Akhiという女の子四人組は踊りを披露。

子供達の発表が終わると先生方も負けじと東北地方の山形の踊り「花笠踊り」を披露してくださいました。子供達は初めて見る日本の踊りに驚いた様子。

また、先生方から仙台のお土産の焼き物を頂きました。子供達は興味津々の様子でチリンチリンと焼き物を鳴らすのを楽しんでおりました。





EKMATTRA



where truth is the password



編集後記

エクマットラ インターンの渡辺尚希と申します。
これから短い間ではありますが、エクマットラの様子、
子供達の実際の生活の様子をお伝えしていきたいと思っ
ております。また、私がインターンを終了した後もこの
試みが継続していけるよう残りのインターン生活尽力し
ていく次第です。
拙い文章ではありますが、少しでも分かりやすく皆様方
にお伝えしようと尽力して参りますので何卒よろしくお
願い致します。

エクマットラ インターン
東北大学四年渡辺尚希

発行年月日：2008年 08月 18日

発行：EKMATTRA

発行責任者：渡辺尚希

House - 22, Block-E, Main Road,
Eastern Housing, Pallabi, Mirupur, Dhaka-1216

Phone:04474250237 - 8

Home Page: www.ekmattra.org